

令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	串間市民総合体育館・串間市総合運動公園
所在地	串間市大字西方9050番地（体育館）・大字西方9080番地1（運動公園）
指定管理者	名 称 ジェイレックグループくしま 代表企業 株式会社 ジェイレック 代表者 代表取締役 加藤 裕之 住 所 東京都練馬区関町南一丁目12番4号
モニタリングの実施方針・方法等	毎月、業務報告書の提出を受け、モニタリングを行った。 また、サービスの質については、令和5年3月に管理運営評価モニター会議委員から書面により意見を拝聴した。
担当課 (問い合わせ先)	串間市教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興係 (☎0987-55-1162)

■モニタリングの総合コメント

令和4年度の利用状況については、総合体育館は18,820人で昨年度と比較して12%増、総合運動公園においても61,451人で8%増となっており、総合的に利用者は9%増となっている。コロナ禍以前の利用者数に戻りつつあるが、団体の活動、スポーツ大会、スポーツ合宿等においては、未だ新型コロナウイルス感染症による若干の影響があった。

施設管理については、民間事業者のノウハウを生かした専門的知識による施設の個別整備等に努め、よりよい利用環境の提供を行っていた。

また、突発的な対応として、協定の範囲内において自らが対処できるものについては迅速な措置を行い、その他については、適宜、行政への連絡対応をおこなっていたところではあるが、指定管理者である株式会社ジェイレックの職員による不祥事が発覚したことにより、令和5年3月31日24時をもって公の施設の指定管理者の指定取り消しとした。

■今後の業務改善に向けた考え方

利用者のニーズを把握しながら安心・安全に利用できる環境整備に努めることと、各施設の空き時間の利用向上を図る。また、キャンプ受け入れ時の対応については、受け入れ環境の整備等を行い心身ともに充実できる串間キャンプを推進しつつ、キャンプ期間中の施設空き時間の市民への有効活用も図る。

自主事業については、一年を通した取り組みを実施し、施設利用者の増加はもとより、スポーツに親しむ機会の提供を行い、スポーツ人口の増加、スポーツにふれあえる環境づくりにも努めていくことを考える。

■基本的な考え方(施設の性格・目的との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

地域住民等に対する健康と体力維持増進を図り、スポーツ・レクリエーションなどのサービスの効果及び効率を向上させ、地域福祉の一層の増進を図ることを目的とし、民間事業者たる能力を活用し管理運営された。

■業務内容

・機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)

民間事業者のノウハウにより施設の不具合など迅速に対応し、利用者の安全性・利用環境の改善が図られた。自主事業については、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止している。

・責任性・実効性(施設の運営体制や組織)

指定管理者である株式会社ジェイレックの職員による不祥事が発覚したことにより、令和5年3月31日24時をもって公の施設の指定管理者の指定取り消しとした。

・明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

指定管理者である株式会社ジェイレックの職員による不祥事が発覚したことにより、令和5年3月31日24時をもって公の施設の指定管理者の指定取り消しとした。

・安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全、市民の財産を守るうえで最重要項目である。それを踏まえ、適宜、迅速な連絡体制、対応・対策等できていた。また、新型コロナウイルス感染症の予防対策の徹底に努めるとともに、災害時や緊急時に迅速な対応ができるような体制づくりに努めていた。

・社会性(環境等への配慮)

事務業務はもとより、施設整備についても器具、機材等の再利用等行い経費削減に努められていた。

■事業収支

経済性

令和4年度の収支は、収入54,769,290円に対し、支出57,774,206円となっている。

■団体の経営状態

経営の健全性

近隣市町村のスポーツキャンプ誘致競争の激化や人口減少に伴うスポーツ人口の減少、また新型コロナウイルス感染症の影響などによる施設利用者の減少が懸念される中、民間のノウハウを活用した専門的な施設整備、利用環境の向上に努め施設利用者の増加に努められた。

県内の受託状況については、宮崎田野運動公園・日南市体育施設(北郷・日南エリア)、延岡市体育施設の指定管理業務を受注する実績を上げている。